

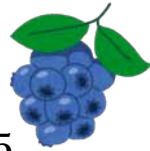
# 風力発電に

第11弾

## 仁木町民有志は、 なぜ反対するのか！



仁木町北町1丁目45



津司 康雄

### 【各論 11】

## 固定資産税編

固定資産税は風車のメリットか？

### (収入の部)

●事業主から固定資産税は入りますが、交付金が**3/4減額**されるので、残り1/4です。1/4に、補助金上乗せは事実。

仮に、固定資産税は1基10億円と仮定すると、17年間(20年間)で、

**1,547万円**。(実数が判明すると多少変わります)

### (支出の部)

- 1, 災害増の対応経費等
- 2, 体調不良の対応経費等
- 3, 農作物の野生動物被害対策等
- 4, **撤去費用、数億円** (撤去の罰則が1年以下の懲役か、100万円以下の罰金)。あなたが業者ならどちらを取りますか？



撤去費用



5、会社が特別名目会社になり、関電には請求出来ない。

トータルで大赤字が想定される。地域が発展した実例はない。

## 【各論 12】

# 廃棄処分編

- ① 廃棄処分は、義務付けられている。
- ② **1 基数億円**、廃棄処分の義務はうたっているが保証はない。
- ③ 先進地では、放棄されて難儀しているところがある。
- ④ 現在廃棄処分できる施設が無い。野済みの場所が必要。
- ⑤ 廃棄処分料（一基数億円とも？）と**罰則**のバランスが気になります。
- ⑥ 特別名目会社が、20年間で廃棄処分経費を残せるのか気になります。

事業者やメーカーの倒産が問題で、青山高原でもオランダの会社が倒産して、どうやって撤去していいのかわからなくなっている事例が発生しました。



## 【各論 13】

# 罰則編

- 一年以下の懲役又は**百万円以下の罰金**（建築基準法適用）
- 五年以下の懲役若しくは**千万円以下の罰金**（廃棄物処理法・15m以下適用）

いずれにしても、**罰則が軽いのが放棄のきっかけになる**

## 【各論 14】

# 再エネの固定価格買取制度とは

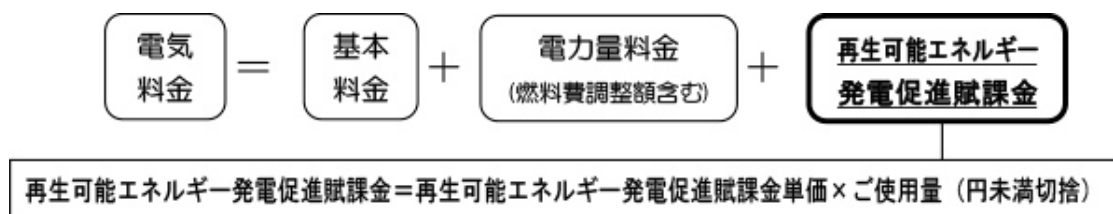
電力会社等が、再生可能エネルギーの買取を、一定期間、市場価格に左右されない固定価格で買い取ることを義務付け、電気事業者による再生可能エネルギー発電の導入を後押しする制度（平成24年開始、2030年終了）

## 【各論 15】

# 再エネ賦課金とは

正式名は、「再生可能エネルギー発電促進賦課金」と言う

＜電気料金の計算方法＞



再エネ賦課金は、2030年(固定価格買取制度期間の終了)をピークに値下がり、2048年頃にやっと0円になる試算を出しています。現実の推移とは少し乖離が見られます。

2023年の値下がりの主な要因は、電力市場価格があまりにも高騰したので、政府が介入し、回避可能費用が増加した為です。しかし、これも国民の税金から補填されており、再エネが莫大なお金がかかっていることには変わりはありません。

## 【各論 16】

# 代替エネルギー編

カーボンリサイクル燃料 (SAF 航空機※、合成燃料、合成メタン)



- ① 2022年9月に合成燃料の導入促進に向けた官民協議会設立
- ② 経済産業省は令和3年6月18日2040年までに商用化目標
- ③ 大阪ガスは、合成メタンを2050年までにLNGの価格と同水準
- ④ 合成燃料の商用化に向けたロードマップ2030年～2034年商用化、2035年～2039年生産量拡大(資源エネルギー庁)

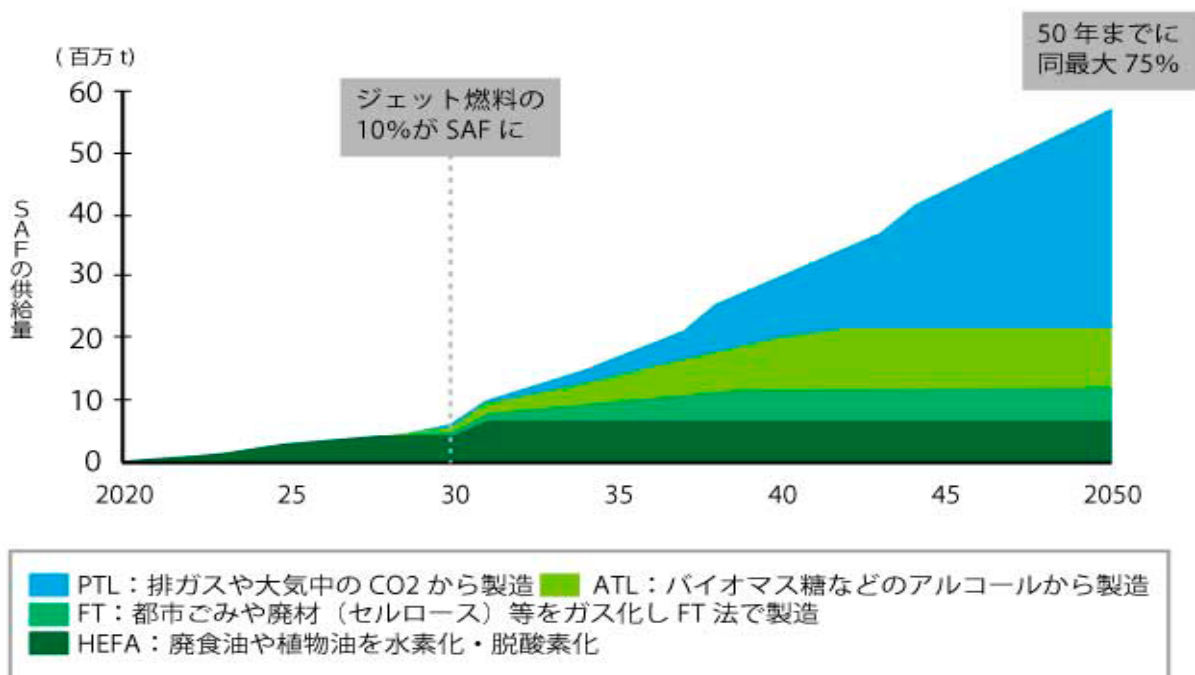
### ※ SAF (Sustainable Aviation Fuel) とは？

日本語では「**持続可能な航空燃料**」を意味します。次世代の航空燃料とも呼ばれる SAF の最も注目すべき点は、**化石燃料と比較して二酸化炭素の排出量を大幅に削減できる**ということです。人類の活動によって排出される二酸化炭素の量のうち、全体の2～3%を航空機が占めています。従来、航空機の燃料には主に化石燃料が使われており、二酸化炭素排出量を軽減するために、航空各社ではこれまで燃費の良い機体の採用やエンジン洗浄など燃料の削減

に取り組んできました。

二酸化炭素の排出量軽減の取り組みの中で、より排出量を削減するための手段として近年登場したのが、**化石由来の原料を使用しない SAF** です。**持続可能な原料から製造される SAF** は、従来使われてきた化石燃料と比較して、**約 80%の二酸化炭素排出量を軽減**することができます。また、**化石燃料と混合して使用**することができるため、**既存の航空機や給油設備などにそのまま使用**できる点も大きな特長です。

化石燃料は、使用サイクルにおいて一方的に二酸化炭素を排出するだけのリサイクルできないものでした。ですが、**SAF** の主な原料となる植物は光合成を行うため、二酸化炭素を一方的に排出するだけではなく、リサイクルしながら燃料として使用できるのが持続可能といわれる理由です。



私共は、風力発電所の危険性についてパンフレットやチラシ等で詳細にお知らせしてまいりました、つきましては、災害時には、次のことを確認いたします。

## 災害時の請求権についての確認

自然災害・干ばつ・健康被害・農作物減収の補填・住宅、農地等の買い取り等関連被害について補償を下記のものに求めます。

日本国・北海道・関西電力・特別名目会社はもとより、**仁木町・導入時の仁木町町長・仁木町副町長・賛成した仁木町議会議員、仁木町議会議員とその相続人**に対し請求権を行使することを告知日2023年10月26日付で追加告知いたします。

**お願い：将来の被害に備えて多くの人に資料の保存収集をお勧め致します。**